

賀正 デイサービスの新年



年頭のご挨拶

社会福祉法人

飯山市社会福祉協議会

会長 岸田 勉



新年あけましておめでとう
ございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

日頃から、当協議会に対しまして、格別なご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年10月から地元のご理解と飯山市のご協力を頂き、旧外様保育園を活用させて頂いたが、西部地域の介護の拠点として、仮称外様介護センター(デイサー

ビス・ショートステイ)の建設に着手、今年の四月から開設する予定です。

さて、地域社会を取り巻く状況は、本格化する少子高齢社会への対応、高度情報社会の進展、更には地球規模での環境問題など多くの課題に直面しており、これまでの成長を支えてきた社会経済システムからの転換が求められています。

自殺、児童や高齢者、障

がい者への虐待、孤立死、悪徳商法被害、若年者の就労問題、災害に備えた要援護者の支援体制、又、社会生活の希薄化等、新たな福祉課題、生活課題が次々と顕在化しています。

見守り活動など人と人とのつながり、地域に密着した住民主体の活動のネットワークの構築が大切です。

改正介護保険法、障害者自立支援法に沿って、地域に重点を置いた制度改革が進められています。が、政権交代によりその方向が今だ不透明な状況にあります。

が、今年も、市民一人ひとりが、自分らしく安心して暮らせる、共に支えあう地域づくりに専心努力いたしたいと存じます。

活動の目標を、次に掲げ推進したいと考えています。

第一に、「多様化する個別のニーズに 対応」

第二に、「福祉、介護サービスの充実」

第三に、「住民主体の支え合いによる地域福祉の推進」

この1年が、市民の皆様にとりまして夢と希望に満ち溢れた幸多い年でありませう。お祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



建設中の外様介護センター(仮称)

災害のとき、どうしたら…

12月12日(土) 外様地区尾崎区において、災害時住民支え合いマップ作成を、区役員等参加のもと行われました。

このマップ作成事業は、長野県では平成17年度から始まり、飯山市内においては、行政と連携しながら、平成18年度木島地区から取り組みを始め、現在各地区で行われています。今年度、外様地区(法寺・中条・中曽根・尾崎・顔戸)においてマップ作成に取り組みすることになりました。

災害時住民支え合いマップには、地区内において「集



災害時支え合いマップづくりの様子

落の現状(危険箇所・避難場所・人的資源等)、「地形等の確認」、「高齢者宅の確認」、「災害時に助けが必要な方(要援護者)」などをマップの上で視覚的な表示により確認し、緊急時に対応していくという目的があります。また、災害時等に関わらず、平常時の支援づくりにもつなげることが出来ます。



みんなで地図とにらめっこ

した。

作成に関わった皆さんからは、「改めて地区内を見直す機会になった」、「緊急時には、区内全員が無事で避難できるようにしたい」、「これから年々更新していきたい」、「これからの声」が聞かれました。

災害時住民支え合いマップについて、新たに組みたい地区がございましたら、社会福祉協議会までご連絡下さい。

62 2840

薬草風呂でポッカポカ

12月22日(火)、瑞穂地区社会福祉協議会の皆さんが、デイサービスセンター瑞穂を訪問し、独自に収穫・乾燥させた薬草をくださいました。佐藤・瑞穂地区社協会長から、利用者の太田志づさんに手渡されました(左の写真)。この薬草は、以前よりいただいております。お風呂に入れて使わせていただいております。利用者は、「温泉みたいで、とても気持ちがいい」、「自分も昔、モグサやドクダミを干したが、たいへんだった。それを思うとたくさん頂いてありがたい。」という声が聞かれました。

職員からも、「午前中に入ると、夜、布団に入るまでポッカポカして良い」という声が多く、「感謝の言葉が出てきました。」

おかげ様で大変喜ばれていました。

瑞穂地区社協の皆様、ありがとうございました。



佐藤会長(左)から薬草を受け取る太田さん